

S S K A

1971年8月7日第3種郵便物認可

毎月1の日・6の日発行

2003年3月20日発行

通巻増刊4473号

愛知県支部だより 9号

総会資料

特別企画 どうしたら穏やかに過ごせるか 具体策を考える

総会日時 平成15年4月27日(日) 10:00~15:00

会場 東別院会館 2F 蓮・橋の間

名古屋市中区橘 2-8-45 ☎052-331-9576

東別院会館は東別院の付属施設です

名鉄・JRとも金山下車 地下鉄金山→東別院(一区间)

体力のある方は、金山駅から歩いてみてはいかがでしょうか



駐車場 東別院会館専用駐車場を利用したい人は、3日前に電話予約の確認をする必要が有ります。確認が取れた人は当日会館1F事務所で【駐車許可証】を貰って下さい。近くに有料公営の古沢公園駐車場が有ります。境内には駐車しないで下さい。

- ◆ 体力のある人は、準備(当日午前9時)昼食配膳、後片付け等手伝って下さい。
- ◆ 総会には、この資料と会報7号を持参して下さい。
- ◆ 出欠の返事を4月15日間で返送して下さい



誤植には注意しています。それでも出るものはお許し下さい



同封の総会出欠届は4月5日までに返送に協力して下さい
会員番号の分からない人はくらのまま返送して下さい

総 会 日 程

日時 平成15年4月27日(日) 10:00~15:00
場所 東別院会館2F 連・橘の間

総会 10:00~12:00

開会挨拶・総会資格審査報告・議長選出

議長就任挨拶

支部長挨拶

議事 1. 活動経過報告

決算報告

監査報告

2. 活動計画・規約改正・会の愛称・予算

3. 退任役員挨拶 新役員挨拶

体験発表

政年 愼

議長候補 則竹昌常

丹羽浩介

奥田富美江

小山美智子

加藤 登

丹羽浩介

丹羽浩介

昼食休憩 12:00~13:00 体力のある人はお手伝い下さい

医療講演会 13:00~15:00

講師 本町クリニック・服部神経内科 副院長 服部優子先生

個別相談 服部達哉医師 服部優子医師

尚、個別相談の時間と平行して座談会を開催します



会の愛称

全国パーキンソン病友の会・愛知県支部の会の愛称を

P N G 愛知

としたいと思います

PはパーキンソンのP NはネバーのN GはギブアップのG です。

会報7号 加藤紀幸さんの手記をヒントとしました。

P arkinson

N ever

G ive up

愛知

と読んで戴いても、

P ーキンソン

N にまけないで

G 頑張る

愛知

と読んで戴いても

結構です。

応募して戴きました方にお礼申し上げます

第1号議案 活動経過報告 奥田副支部長

平成14年度は「そこまで来た新技術 希望と勇気の毎日を」を活動の基本としました。

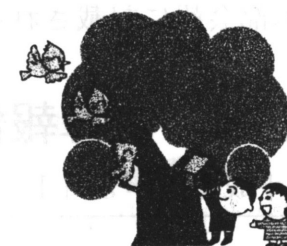
会員が各行時に参加しやすい企画、参加して良かったという運営を中心としました。

全体として会の活動に息吹が出て来たようです。創立以来会を守り育てて戴きました先輩諸氏のたゆまざるご努力のお陰かと思ひます。今後も守り育てて行きたいと思ひます。

活動の概要

- ① 会報の発行 第5~8号を発行しました。読みやすく、元気の出る内容に編集しました。会報発行、編集方針について多くの方の賛同を戴いたものと思ひます。また、喜びと激励の声をたくさん戴きました。6号にはアンケートをてんぷしました。この結果は7号に発表しました。会報発行に携わるメンバーを強化して今後とも継続して発行出来るようにします。

- ② 一日交遊会の開催 平成14年6月9日 大府市「愛知県民の森」で開きました。約30人の人に参加していただきました。が、参加していただいた方には大変に喜んで戴くことが出来ました。



座談会、懇談会が一番皆様に魅力があるように考えます。15年には懇談を中心とした企画にすべきではないかと考えています。

- ③ 医療講演会の開催 平成14年10月12日 一宮勤労福祉会館で開催しました。約300人の方においでいただき、この種のものでは大繁況でした。今後とも、パーキンソン病に苦しむ人々のために会としての役割を果たして行きます。この講演会は愛知県支部と名古屋大学神経内科との共済の形を取りました。

- ④ 一泊旅行の開催 平成14年10月17日~18日 吉良吉田市・ホテルリンクスで開催しました。参加者総数36名。服部医師夫妻。服部神経内科の職員の方。ボランティア参加の方などを加えて、楽しい一時を過ごすことが出来ました。今後の課題として、参加の意思がありながら、自力で参加出来ない人に対する配慮があります。具体策の策定に取り組む必要を痛感します。

- ⑤ 会歌を作りました。都築妙子さんの全面的な協力によるものです。会報にも紹介しましたが、私たちの闘病生活に勇気を与えてくれる詩に見事に調和した美しい旋律が付けられています。都築妙子さんにはCD100枚を寄贈して戴きました。残余がありますから、総会当日、会場受付で希望者にお分けします。

⑥ 国会請願署名・募金活動は次の通りでした。皆様のご協力に感謝します。

尚、集まった署名は東海市・神野市議を通して◇◇◇◇衆議院議員、山本保参議院議員（公明党）に紹介議員となっただき、衆参両議長宛に送付しました。

また、大切な募金は、全国パーキンソン病友の会と愛知県難病団体連合会に送金しました。

署名数	参議院	740名
	衆議院	742名
	愛難連	417名
募金		216835円

4月11日、愛知県支部代表も参加して、国会へ陳情しました。この件に関する報告は、本部会報に記載される予定です。

第2号議案 決算報告 小山幹事

期間 平成14年3月1日～平成15年2月28日

収 入	予 算	決 算	支 出	予 算	決 算
前年繰り越し	51082	51082	旅費	40000	111905
会費	688000	730000	会議費	40000	103236
その他収入 ①	100000	548402	本部会費	258000	262500
広告収入 ②	100000	80000	愛難連	20000	14000
予備費繰り入れ	100000	0	消耗品費	200000	135295
			通信費	100000	105987
			印刷代	20000	7195
			会報代	180000	353430
			総会費	40000	30000
			活動費	80000	127991
			予備費	61082	53472
			次年度繰り越し金	0	104473
合 計	1039082	1409484	合 計	1039082	1409484

① 寄付者 敬称略

寄付金額	氏 名			
10万円	丹羽浩介			
5万円	近藤喜代春			
3万円	久保田秀子	真田多實夫	大田勝子	黒岩道雄・榎
1万円	中野博光	大石郁子	細川 勉	都築龍二
	久田治代	遠藤利器	匿名希望	
4千円	米田・非会員			

② 広告収入

(5万円) メディカル在宅マッサージ・センター

(3万円) 本町クリニック・服部神経内科

その他匿名寄付 及び 会報・CDなど

その他経費負担

- ◆ 会報印字・宛名印字・諸経費・◆ 会計事務・名簿管理にかかわる諸経費
- ◆ 関係者の皆さんの電話代 ◆ 関係者の皆さんの活動諸経費(ガソリン代 請求・のない旅費等) ◆ 各行事にかかわる諸経費 (ガソリン代 請求のない旅費)
- ◆ 会の歌CD ◆ 写真 ◆ 切手多数 この会の運営が、多数の皆様の協力と支援で支えられていることを報告し、同時にお礼とします。

監査報告 加藤監査

全国パーキンソン病友の会愛知県支部 支部長 丹羽浩介 殿

監 査 報 告 書

全国パーキンソン病友の会愛知県支部の平成14年度の決算について関係書類、証拠書類等及び預金通帳等について精査したところ、いずれも正確に処理されておることを確認しました。 また使途についても、会の目的達成のために使用されており、妥当なものでした。 以上を以って監査報告といたします。

平成15年3月10日

監 査 加 藤 登 印

全国パーキンソン病友の会

愛知県支部支部長 丹羽浩介殿

監 査 報 告 書

会の会計監査報告は前述の如き内容であります、この際監査人として、一言申し上げたいことがあります。この種の会の性格上、やむを得ない一面があることは重々承知いたしておりますがこの会の会計が会計報告とあわせて報告されたように、特定個人からの多額の寄付 労力、資材などの無償による提供人からその他個人の善意による負担によって大きくまかなわれていることを認めざるを得ません。これはいささかいびつに感ずるものです。

したがって、この点に関して役員会等において慎重な討議を行い早急に改善策を講ぜられる様に申し上げる次第です。

平成 15 年 3 月 10 日 監査 加藤 登

役員会見解

この会の運営が特定の人達の負担で成りたっているのは、監査人の指摘の通りですが、これに見合う妙案が見つけれないのが現実です。

今回会費を改定しても活動資金は年間約 50 万円程度不足です。

たとえば、会報は 1 号当たり 10 万円かかります。N さんは会報つくりのために名古屋から東海市へ都合 6 回足を運びましたが、交通費、昼食代、雨天のタクシー代、総て自弁です。おまけに事務局で転んで肋骨にひびを入れました。N さんはそれでもニコニコしています。他の人も似たり寄ったりです。

この会のよいところを N さんに見せてもらいました。

総てにベストを尽くす。これ以上答えようがありません。

第 3 号議案の 1 活動計画 丹羽支部長

1、定例的な活動

① 会報の発行 年間 3 回発行 6・9・12 月

皆さんの投稿を依頼します。知りたいこと、記事にしてもらいたいことはお知らせください。自分の得意な分野は原稿にして送ってください。

会報の編集責任者を中島陽太郎さんに担当してもらうことにしました。

会報グループ

編集責任者 中島陽太郎

肥後ひとみ 篤永章子 伊藤つぐみ 加藤基雄

② 座談交流会 年 2 回開催の要望が強いのですが、座談会(懇談会)は、総会、一泊旅行の時も開いております。現状では年 1 回が限度です。

6 月に開催します。座談を中心に運営します。

名古屋市内の椅子席会場を予定します。

③ 一泊旅行 座談、親睦を中心に運営します。名古屋市近隣とします。

座談・旅行グループ

実行責任者 奥田富美江

越沢 博 加藤基雄

④ 医療講演会 10 月 25 日 (土) 13:00～ 愛知県中小企業センター

講師 順天堂大学 水野美邦教授

入場整理券を発行しますが、会員は希望者全員に配布します。

医療講演会グループ

実行責任者 則竹昌常

中島陽太郎



2、特別企画 『どうしたら 穏やかにすごせるか具体策を考える』

8 ページをご覧ください。

3、規約改正 会報 7 号をご覧ください。

4、会の愛称 2 ページをご覧ください。

担当者名は主たる担当で、活動に当たっては役員全体と会員の有志で盛り上げます。

特別企画 どうしたら穏やかに 過ごせるか

案

行動を起こさなければ、そこから何も始まらない

「どうしたら穏やかに 過ごせるか」と言っても、すぐに効果の現れる魔法の杖はありません。それは、その穏やかさを求める人の一つ一つの積み重ねからしか、得ることは出来ません。ところで、この冊子を手にしていただけるあなたは、友の会の会員さんです。どうして、この会に入られたかはそれぞれ異なるでしょうが、何かを求めてということなら、どなたも同じです。

さて、会に何かを求めるとしたら、会自体が強くてしっかりしていた方が、何かと都合が良いでしょう。この場合の会の強さとは何でしょうか。いろいろあると思います。求めるところは色々であっても、会を強くする方法は一つしかありません。

その方法とは、会員の皆さんの一人一人が、自分に出来る方法を通して自分の為に会の運営に参加することです。

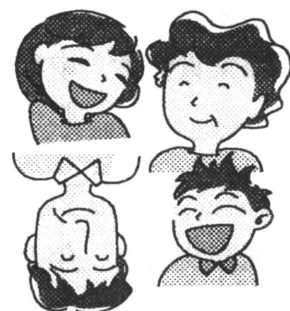
犬も歩けば棒にあたる なつかしい「いろはカルタ」の一番です。犬も寝ていれば、何事も起こりません。何かことを起こそうとしたら、犬ですら歩いて見ることです。まして、私たちは人間です。何かを得ようと思うなら先ず行動ありきです。最初の一步が出なければ、そこに踏みとどまるより方法がありません。

この点は「すくみ」を体験している私たちパーキンソン病患者に取り良く分かる話です。最初の一步が出なければトイレにすら行くことが出来ないからです。

そこで少なくとも、自分の意思で何かを求めようとしたら、自分の意思で何かを始めなければなりません。このことを物事の道理というのだと思います。

自分が友の会に何かを求めようとしたら、友の会に参加してみることです。本部、支部の会報を見て、ああ、あの人も、この人も、あのよう頑張っているのだと思っ

家族は一つ



本文と関係ありません

たら、その気持ちを素直にそのまま書いて事務局に送って下さい。

あなたが、自分の為に書いた手記を見て、誰かに刺激を与えることが出来たなら、あなたにとって大変幸せなことです。なぜ幸せなのか、それはまず ①あなたが人から受けた刺激に対して恩返しのできる事 ②自分のほんのささいな行動に対して幸せであると言う実感が持てること、このことです。

少し脱線します。自分は不幸であると思っている人と、自分は幸福であると思っている人の違いについて書いてみます。

自分は不幸であると思っている人も、自分は幸福であると思っている人もその原因は自分以外にあると思っています。ちがう点は自分は不幸であると思っている人は自分は幸福であるべきだ、あるいは不幸であってはならないと、という前提に立って考えており、その満たされない部分を自分以外の人、物の責任にします。

これに対して自分は幸福であると思っている人はゼロから考えます。そして、自分に起きるすべての出来事を自分以外のすべての人、物のお陰としこれに対して感謝の心で接します。単にこれだけの違いに過ぎないのですが、人生を明るく楽しいものにするか、重く暗いものにするかの差となります。そして、どのような場合であっても、それを決めているのは自分自身の心なのです。あなたがあなたの身の上に起きたことを、どのように考えようとも、常に自然は調和しています。この表現で分かりにくかったら、あなたがどのように考えようと世の中は回っている、として置きましょうか。

【結論】もしあなたの日常生活が穏やかでなかったら、あなたの心の持ち方を、ほんの少し変える必要があります。ところがやっかいなことに、ほんの少しであっても心だけ変えるというのは、難しいのです。そこで、何かをするという行動が必要となります。会の活動に参加するのなら、アンケートも国会請願の署名もせめて自分の名前だけでも書いて送り返して下さい。その他のことは何でもかまいません。行動を伴うことを始めてみて下さい。

犬も歩けば棒にあたる 最初の一步をふみだして下さい。そうすれば何かが変わり始めるでしょう。何かが変わり始めたら、後は継続だけです。

さあ 後はあなた次第です

第3号議案の2 予算 案

パーキンソン病友の会のような任意団体は、会費だけでは十分な活動が出来ません。どうしても寄付に収入の一部を依存せざるを得ません。 費用の柱となる会報は当初予算で年3回としますが、寄付収入の動向次第で増刊は可能です。

期間 平成15年3月1日~平成16年2月28日

収入費目	当年予算	前年決算	支出費目	当年予算	前年決算
① 前年繰り越し	104473	51082	⑤ 旅費	120000	111905
② 会費	850000	730000	⑥ 会議費	90000	103236
③ その他収入	400000	548402	⑦ 本部会費	225000	262500
			⑧ 愛難連	30000	14000
			⑨ 消耗品費	50000	135295
			⑩ 通信費	72000	105987
			⑪ 印刷代	60000	7195
			⑫ 会報関係費用	240000	353430
			⑬ 総会費	80000	30000
			⑭ 活動費	150000	127991
			⑮ 予備費	207473	53472
			⑯ 次年度繰り越し	0	104473
④ 合 計	1354473	1409484	④ 合 計	1354473	1409487

③その他収入 平成15年3月14日現在下記の方から入金又は申し入れを受けました。
現在金額44万円です。予算を40万円を4万円上回りました。会報増刊にめどが出て来ました。

寄付者 敬称略

寄付金額	氏 名			
10万円	匿名希望会員	丹羽浩介		
5万円	真田多實夫	伊藤加津子	黒田ます巳	
3万円	太田勝子			
2万円	鷺坂輝子			
1万5千円	中島陽太郎			
1万円	越澤英子	磯川次男		
5千円	宮地泰一郎	細川 勉		

〔支出〕⑤～⑭積算根拠

	旅費	会議費	消耗品	通信費	印刷費	会報代	会費	会場費 諸経費	計
役員会 旅費 500×4×10=20000 会議費 600×4×10=24000 会場使用料セラックス労連 4×2000=8000	20,000	24,000		4,000				8,000	56,000
会報発送 支部会報3回 本部会報4回 実質5回 旅費 600×5×5=15000 屋食 600×5×5=15000 会場使用料 0円/丹羽宅使用	15,000	15,000		5,000				4,000	39,000
会計打合3回 印刷所打合3回 原稿印字打合3回	12,900	9,000		2,000				3,000	26,900
本部総会派遣費用 1人 金沢市	15,600	20,000							35,600
通信費 会報発送 支部3回 本部4回 単価25円 25×7×300=52,500				52,500					52,500
印刷費用 用紙代 複写機トナー			30,000		50,000				80,000
会報代 3回 1回80,000						240,000		30,000	270,000
総会費用 会場代 その他経費								⑬ 80,000	80,000
活動費 当日の費用は参加者負担 ここに計上する値は準備費用	10,000 10,000 10,000	5,000 5,000 5,000		3,500				30,000 30,000 50,000	158,500
本部会費 @1500×170							255,000		255,000
愛難連会費 定額							30,000		30,000
上に含まれないもの	26,500	7,000	20,000	5,000	10,000				68,500
	⑤120,000	⑥ 90,000	⑨ 50,000	⑩ 72,000	⑪ 60,000	⑫240,000	⑬ 80,000	⑭150,000	1,152,000

私達が役員です

支部長	丹羽 浩介	事務局長兼務
副支部長	奥田 富美江	座談会・旅行・総括
	則竹 昌常	医療講演会・総括
幹事	小山 美智子	会計・名簿管理
	肥後 ひとみ	事務局・会計
	越澤 博	座談会・旅行
	伊藤 つぐみ	会報
監査	加藤 基雄	会報・旅行
	加藤 登	愛難連
ボランティア 非会員	中島 陽太郎	会報・医療講演会
	篤永 章子	会報印字・名簿印字
	小山 克己	両氏には小山幹事の補佐として会計・名簿管理
	水野 貞子	

私丹羽は常に何か話をし、何かを書いています。他の方に感想を書いて貰いましょう

副支部長 奥田 富美江 パーキンソン病と病名がついてから22年。良くまあ長い間仲良くしているものだ実感して居ます。若いころ(30代)は病気に縁がないと自負していましたが年々進行しています。でも、病魔に負けないで頑張るつもりです。最近(ソーイング)洋裁にはまっています。一枚の布が切ったり縫ったり形になって完成。着ていて友人にほめられると嬉しくてつい押し付けています。	副支部長 則竹 昌常 【経歴】昭和9年生まれ。入るも出るも国民学校。5年生で敗戦。6年生で母他界。高3で父倒産(父・とうさん)反対を押し切って進学。50歳で胃癌。教職38年間。平成7年定年。悠々自適と思いきやパ病に。【信条】①正義に忤る不条理(死、病気、戦争、不正)には渾身の抵抗を。②M・アリがアトランタの聖火台に立ったあの勇気を称えたい。③痛みを分かち合うフォックス一家の連帯に共感したい。
幹事 小山 美智子 会計がこんなに大変なものとは知りませんでした。月末には主人と二人帳簿とにらめっこ。 < 今年もがんばるぞ > 乙女のころからもちつづけた夢、宇宙、NHまんてんを見てからのにわかずくりの夢ではなく、年季の入った本物の夢。 スペースシャトル。私の夢の運搬人。私の瞳はTVに釘づけ。思いつくままに。 七人の尊き命いっしょんに テレビに見入る スペースシャトル	

幹事 加藤 基雄 暦では3月6日が啓蟄でした。土の中の虫が春を感じてうごめくという意味の様です。発症10年診断後5年。節目を迎えたこの春早々、支部長からお話を戴きました。時は啓蟄、私にも春がやって来て活動を促されているのでしょうか。なんと言っても初めての経験なので皆様のお力を借りて、友の会の和、輪、を広げて行きたいと思えます。よろしくお願いします。	幹事 肥後 ひとみ 29歳で左手の震えに気づいて16年、この春高一になった娘の母です。手芸(特に編み物)が好きで、優柔不断な人が大嫌いな少々あわて者の中年のおばさんです。文章を書くのが大の苦手なので、会報作りに四苦八しながらやっています。これからは若年性の会を軌道に乗せ、広げていけたら良いと思っています。若年性発症のみなさん、いっしょに楽しく、お話しませんか? みなさんの参加お待ちしております!!
幹事 越澤 博 昭和6年 群馬県館林市生まれ。72歳。退職後、妻と二人暮らし(子供達は遠くで暮らしている)でしたが7年ほど前から妻が病を得、不自由となった。一番困るのは第一歩が出ないため良く転ぶことである。妻は私が無視していると言うが間に合わないのである。パーキンソン病で死ぬこともないそうだから、良い薬が出来るまで、病気とうまく付き合って、旅でも楽しもうと考えている。	幹事 伊藤 つぐみ 私は病歴4年の52才の主婦です。最近また少し進行して来た様に思います。心配していても仕方ないのでこのごろパソコンでメールをする様になり楽しんでます。P病友の会の方やお友達と毎日の様にやりとりをしています。皆様もよろしかったらメールを送って下さい。病気のことで担当の先生と自由にメールが出来たらどんなにか心強くなれるでしょう。それが実現出来るのを夢みるこの頃です。
監査 加藤 登 め ぐえ 私たちの趣味の世界に「目肥」という言葉がある。「目肥と言うのは、肥は肥でも手でつかんやる肥ではない。植物のご機嫌をこの目でたしかめることである。」(榊莫山) 今の私の日課は、寒さの中で健気にも花をつけた物言わぬ植物たちに目肥をやることである。植物抱けではない。物言わぬ人にも植物と同じように、目肥が必要ではないかと思っている今日この頃である。	監査 中島 陽太郎 今年の8月がくると68歳になり、発病してから16年が過ぎた。私は好奇心が強くいろいろなことに首を突っ込みましたが長続したことはありません。今年の目標の一つにホームページを作れるよう学習する。必要ならば外国との間でインターネットを使って交流したい。これが友の会会員としての願いであります。どうか好奇心や集中力が続きますように念じております。皆様の一層のご支援を!

事務局からのお知らせ

✂ 本年会費は総会終了後に入金して下さい。会員各人宛に振り込み用紙を送付します。

総会議案として会費の改定を提案します。会報7号をご覧下さい。

役員提案が了承されますと、次の形で納入して戴くことになります。

- ① 年間一括納入の方 5000円
- ② 分割方式の方 前期 3000円 後期 2000円

新会員の方は

- ① 4月1日より9月30日の間に入会の方
年間一括5000円 又は 前期3000円 後期2000円
- ② 10月1日より3月31日入会の方 後期2000円

🍎 懇談会を予定しています。4月9日の役員会で決定します。

日時 6 月未定

場所 未定

(企画案) 未定

- ① 懇談交流を中心に運営します
- ② 行楽 懇談 を中心に運営します

🍷 会報10号(6月発行予定)に名簿を添付します。会員家族以外に見せないで下さい。
地域交流、趣味交流、等積極的にご活用下さい。



水野美邦教授講演

平成15年10月25日(土)に開催する講演会に愛知県支部の要請に応じてパーキンソン病の世界的権威である『水野美邦教授』に御越しいただくことに成りました。

私は水野教授を大変に尊敬しています。講演会で二度おはなしを聞いたからです。一度は、平成13年2月、名古屋市主催の時でした。録音を取ることをお許しいただき、原稿にしました。当時私は、友の会に入会して未だ数ヶ月、パーキンソン病に対して殆ど知識の無いときでした。

聞き違いだらけの原稿をていねいに添削していただき、数日で返送していただきました。その原稿が、『愛知県支部だより』2号の原稿です。

その時に感じたのは、やや繊細な性格の人に多く発症するパーキンソン病の医師としての性格、人柄、人間愛を充分すぎるほど持ち合わせた方であるということでした。もちろん医師としての力は世界一です。

このチャンスに直接会場にお運びください。

日時 平成15年10月25日 午後1時開会

場所 愛知県中小企業センター 講堂 650席

会場と相談して車椅子席を確保するように努力します

広く社会に公開しますが、会員の参加希望者は全員(付き添い含む)参加していただくようにします。入場整理券を発行します。



詳しくは5月8月会報
をごらん下さい

ソウルに行きませんか

第4回 アジア・太平洋・パーキンソン病シンポジウムが次の日程で開催されます。参加希望の方は申し込み下さい。

- ★ 日程 平成 15 年 10 月 2～4 日
- ★ 開催地 ソウル・韓国
- ★ 費用その他詳細は未定です。
- ★ 現在のところ、丹羽浩介ほか数人が参加を予定しています。
- ★ 申し込み 5 月 31 日



- 実際の締め切りは7月末で充分なのですが、参加者数の概略を知りたいために5月末としました。キャンセル可能です。希望される方は意思表示してください。
- ★ このシンポジウムはパーキンソン病患者と家族を対象として開かれるものです
 - ★ 順天堂大学・水野美邦教授よりの参加呼びかけです。

1971 年 8 月 7 日第 3 種郵便物認可（毎月 1 の日、6 の日発行）
2003 年 3 月 20 日発行 SSKA 通巻増刊 4473 号
編集人 全国パーキンソン病友の会・愛知県支部 丹羽浩介
477-0031 東海市大田町上浜田 61-4-615
Tel Fax 0562-32-4518
0562-32-4590
定価 1000 円 会員は会費に包括
発行人 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会
Tel 03-3416-1698 Fax 03-3416-3129